

札幌市交通事業経営計画 P.17

運賃改定シミュレーション

運賃改定と資金不足の状況



収支改善の努力はしているものの、現行の200円の運賃のままでは、令和8年度(2026年度)以降、資金不足に陥る見込みです。

運賃改定と経常収支の状況



運賃改定により当面の資金不足は回避できますが、厳しい収支状況が見込まれることから、引き続き改善の努力を行っていきます。

※子ども運賃・定期料金についても、改定を見込んでいます。

少子高齢化や人口減少により、長期的には乗車人員、乗車料収入の減少が予想されるとともに、電気料金や資材価格の高騰による経費が増加し、経営を圧迫。



持続可能な経営に向けて、**令和6年(2024)12月に運賃改定を実施**

札幌市営企業調査審議会
令和6年度第2回交通部会 資料2

(改定前後運賃比較表)

区 分				改定前	改定後	改定率
普通運賃		大人		200円	230円	15.0%
		小児		100円	120円	20.0%
定期運賃	通勤	1か月	大人	8,190円	8,690円	6.1%
		3か月	大人	23,330円	24,770円	6.2%
	通学	1か月	大人	5,870円	5,930円	1.0%
		3か月	大人	16,720円	16,900円	1.1%
	通勤通学	1か月	小児	3,670円	3,730円	1.6%
		3か月	小児	10,450円	10,630円	1.7%
貸切運賃		普通車		18,340円	20,700円	12.9%
		3 連接車		22,000円	24,840円	12.9%
どサンこパス				400円	460円	15.0%
1 日乗車券		大人		500円	570円	14.0%
		小児		250円	290円	16.0%
24 時間乗車券		大人		780円	840円	7.7%
		小児		390円	420円	7.7%

定期運賃の改定率の抑制

定期運賃は、利用頻度の高い沿線市民のお客様の利用定着を図りたく、改定率を抑制。特に通学定期は、家計への直接的な影響に配慮するため、現行運賃に近い金額に設定

～運賃改定までの経過～

● 軌道運送事業者である公社が、中小民鉄事業者の収入原価算定要領に基づき北海道運輸局長へ認可申請

※ 平成29年4月の運賃改定時の認可申請は、交通局が国土交通大臣への認可申請を行い、国の運輸審議会を経て認可を受けた。

